



広報にはら

行 発 所
 西 原 村 役 所
 電 話 (095) 2401
 2532・2533
 印 刷 所
 中 部 印 刷 K K
 電 話 (077) 4464

村の世帯・人口

1969年3月末日現在

総世帯数1934

人 口 10,071人

男 5,038人

女 5,033人

当月の人口移動

出生 13 死亡 2

転入 12 転出 8

婚姻 10 離婚 2

主なもくじ

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
教員異動……………	中部市村親善野球大会……………	六九年度青年祭……………	夜間補導……………	教育委員二人を改選……………	六九年度産業視察……………	大型機械の購入……………	職員の配置換え……………	春の清掃週間終る……………	祖國復帰要求大行進団本村を通過……………	一九六八―六九年期さとうきび生産実績……………	財政公表……………	与那城村我謝地内配水管布設工事着工……………	小橋川東原農道工事着工……………	一九六九年度第三回臨時議会……………	行政主席の地方行政視察……………
8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	6	2	2	2	1	1



懇談会の席上、村の実情を説明する村長

初の公選主席 市町村を視察

星良行政主席は、新年度予算を前に、市町村行政の実情をつかみ、それを政府の施策に反映させるため、三月中旬から南風原村を皮切りに各市町村を視察しました。

西原村には、三月二〇日仲村総務局長、宮里建設局長、大仲地方課長をともなって訪問され、当局から村長をはじめ、議会議長、農協長、青年会長、婦人会長、その他関係者が出席して一時閑余にわたり親しく懇談しました。

なお、当日は次のようなたくさん要望ができました。村からの要望

- 1 政府補助事業の促進
- 2 無医村の解消
- 3 技術援助による旧飛行場の土地境界設定
- 4 道路、排水路等漬地の戦後処理

農業団体からの要望

- 1 長期低利による営農資金強化
- 2 肥料、農薬等の価格引下げ
- 3 農林漁業団体職員共済組合法の早期立法による年金制度の実施。

教育関係

- 1 基準財政需要額の増額
- 2 校舎建築の促進と教具備品の充実
- 3 学級定数の引下げと教員定数の引上げ
- 4 教養退職制度の完全実施
- 5 幼稚園給料園舎建築補助金の増額（公立小中学校並みの金額補助）
- 6 社会教育主事の完全配職
- 7 養護教諭の配職

5 政府管理道路の舗装工事（小波津―首里一五五号線）

- 6 三八号線の道路貸料の早期支払
- 7 塵芥処理施設への補助制度
- 8 農業施設事業費金額補助
- 9 各種団体の負担金ならびに各種協会募金の全廃

議会からの要望

- 1 市町村の企業誘致に対する政府の特別財政措置を講じてもらいたい。
- 2 教育委員会法の改正

一九六九年度第三回臨時会終る

去る四月二十五日一九六九年第三回議会臨時会を招集、一日の会期中で午前一〇時から午後五時までに提案された四つの案件を審議した。

今回提案された案件は水道事業費起債変更、一九六九年度上水道事業特別会計入才出追加更正予算、施政権返還決議、一九六九年度西原区教育委員会入才出追加更正予算の四件、議員発議による施政権返還決議は全会一致で可決され、その他三つの案件も当局の提案どおり可決された。施政権返還決議の送付先と決議文は次のとおり。

施政権返還に関する 要請決議書

敗戦によって沖繩が祖国日本から分断され、米国の施政権下に置かれて既に二四年、その間あらゆる機会をとらえて施政権の返還要求を訴えてきたが、いまだにその要求が入れられず依然として米国の施政権下で世界に類のない変則的地位に置かれてきたま不当な忍従を強いられている。沖繩は米国の軍事基地なるが故に、われわれ沖繩住民の自由と権利は極度に圧縮され、また、米軍関係の犯

罪による被害は後を絶たない。従って軍事基地の保有を目的とする米国の施政権下では、われわれの基本的人権の完全な保障を期待することはできない。われわれ沖繩住民の生活と権利を守る唯一の道は施政権を返還することであり、このことは民主的平和憲法の下に沖繩の地位を確立することであって、基地の核付自由使用を容認するものではない。よって本村議会は、日米両政府に対し、直ちに施政権返還の具体的計画を確立して積極的にその実現の措置を講ずるよう要請する。

一九六九年四月二五日

内閣総理大臣
衆議院議長
参議院議長
西原村議会

小橋川東原農道 工事の着工

西原村では一九六九年度の農業施設事業として計画中であつた小橋川(東原)地内農道の新設工事を四社の請負業者に指名し去る四月二十八日入札に付した結果総工費五千七百ドルで丸真組(真志取正一氏)が落札した。

本工事は五月上旬に着工し六月末日に竣工の予定であります。

告示 第 号

本道路は延長三百九十メートル巾員四メートルに設計され小橋川部落を起点として村役所後方東側を経て軍用道路十三号線に直結する利用度の高い道路になりますので関係部落民は大きく期待しております。

与那城、我謝地内配水管
布設工事着工

政府の補助指令まちで遅れていた一九六九年度、与那城、我謝地内配水管布設工事は、このほど、メドが

つき、五月十日から施行しました。本工事は給水人口三、二一〇人を対象に長さ二六七一メートルの幹線工事で、丸三重機と翁長工業が六、八〇〇ドルで請負、なお一般家庭への完全給水は十月以降になる予定であります。

西原村財政状況の公表に關する条例に基づき一九六九年度上半期の財政状況及び一九六八年度一般会計才入才出の決算状況を公表します。

一九六九年四月

西原村長 宮 平 吉太郎

一九六八年度 一般会計決算状況

一九六八年度の決算状況は別紙のグラフで示すとおり才入総額三三二、五一五、九二弗、才出総額二八五、九〇三、三六弗となっております。

才入で一〇四、七七六、六八弗、一四八パーセント、才出で八四、九三三、四七弗、一四二パーセントがそれぞれ増額になっておりますのでそれでは款を追って前年度と増減の比較をしながら簡単に説明をしていきたいと思います。まず一款の村税では、前年度七〇、九二二、七六弗、本年度七六、一一二、二七弗で款、一九九、五一弗の増額になっております。

主な理由は法人(金秀鉄工株式会社、中野製糖株式会社)の建物新築および改築による不動産取得税であります。その他の税において納税義務者各位の自主性に富んだ納税思想の高揚と、その指導助言に当られた区長さん方の協力により本年度の納税成績は九九、六三三パーセントの優秀な成績であります。行政部落二十四のうち二十三カ部落が百パーセント完納ということは本村の税史上始めてであります。

二款の市町村交付税は、普通交付税と特別交付税に分れております。普通交付税は前年度七二、三六五、〇〇ドル、本年度一〇五、二二五、〇〇弗、三二、八六〇、〇〇弗の増、特別交付税は、前年度が一〇、〇五八、〇〇ドル、本年度二〇、三八三、〇〇ドル、一〇、三二五、〇〇ドルが増額になっております。

三款の公營企業及び財産収入は前年度より一三四、三三ドルと少々増えております。これは株配当金、積立金利息、貸付料収入の三つに分れますが、そのうちの積立金利息と貸付料収入で、四款の使用料及び手数料で八九、六一ドル、五款政府支出金六、四九五、二三ドル、六款寄附金一、八八五、〇〇ドル、七款繰入金一八、八〇八、五一一ドルと前年度よりは減額になっております。八款の繰越金は、八、二六七、〇八ドルと増えておりますが、この場合政府の特別交付税の交付期日が年度末に交付されるため事業の執行が出来なく繰越されるのが主である。九款雑収入も二、〇二八、〇二ドルと増えておりますがその主なる理由は講和発効前の土地使用料および復元補償費の名簿作成並びに支払手数料である。一〇款村債は前年度が予算計上の費目存置であつたのが本年度は八〇、〇二四、九九弗と才入増額分の七六、三七パーセントを占めていますが、これは村民各位が永年に亘り願望していた。

新庁舎建築資金の起債による増額であります。次に才出は主に増額になった款を追ってみると二款の役所費十二款の教育費負担金、四款土木費、一款議

会費の順になっておりますがはじめに才出総額の五七、三〇パーセントを占める。

二款の役所費について前年度が八七、六九三、七四ドルで本年度は、一六三、八一七、七八ドルで七六、一三四、〇四ドルの増となっている。その中には職員給料、諸手当も含まれてはいるが庁舎新築費が九二、一九三、四八ドルで役所費の中の五六、二七パーセントを占めている。

次に一二款の教育費負担金も前年度三三、四四二、〇〇ドルが本年度は四三、八五〇、〇〇ドル一、四〇八、〇〇ドル三五パーセントの増である。四款土木費で四、七二九、九二ドル、一款議会費で三、〇三〇、一八ドルと前年度より増えている。その他五款の社会及び労働施設費、一〇款公債費、七款農業経済費、一一款諸支出金、三款消防費の順に若干の増額になっている。六款の保健衛生費、八款財産費、九款選挙費においては、それぞれ前年度より減額になっております。以上簡単に一九六八年度の一般会計才入、才出の決算状況について説明を終わります。

村債の状況

村債は、村民が切望していた行政の殿堂である庁舎新築費として一九六八年度に八〇、〇二四、九九ドル、一九六九年度に五九、九七五、〇一弗で合計一四〇、〇〇〇、〇〇ドルを起債いたしました。元金の償還については一九六八年十二月三十一日現在未償還になっております。

村 有 財 産

1968年12月31日現在

(建 物)

(有 価 証 券)

(土 地)

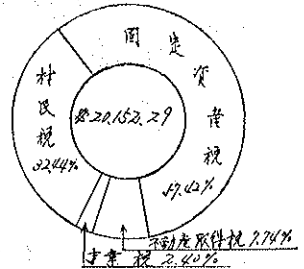
種 別	構 造	坪 数	種 別	株 数	1株全額	枚 数	金 額	種 別	地 積	所 在 地
庁 舎 車庫及び倉庫	鉄筋コンクリート	412.63	琉球銀行	375	1.00	3	375.00	西原小学校敷地	6,088.20	字与那城
	・ブロック2階建	37.26	沖縄配電KK	10	1.00	1	10.00	坂田小学校敷地	3,727.00	字翁長
	〃 1階建		〃	147	10.00	20	1,470.00	西原中学校敷地	5,132.00	〃
			中部製糖KK	5,000	1.00	5	5,000.00	旧分校敷地	578.00	〃
			中部印刷KK	10	10.00	1	100.00	旧校長住宅敷地	151.00	〃
			琉球海運KK	445	1.00	13	445.00	地旧馬場敷地	668.00	〃
			米琉畜産加工	150	500.00 (B円)		75,000.00 (B円)	旧実習地	167.00	〃
計		449.89	計	6,137			旧役場敷地	1,332.00	〃	
							旧石嶺分校敷地	354.00	那覇市首里大名	
							上原、千原、村 有地	197,854.00	字上原、千原	
							庁舎敷地	1,782.00	字嘉手苜112	
							内道路化	341.00		
							計	217,833.20		

村税負担額状況
(法人及び村外を除く)

1968年12月31日現在 世帯 1,927
人口 10,044

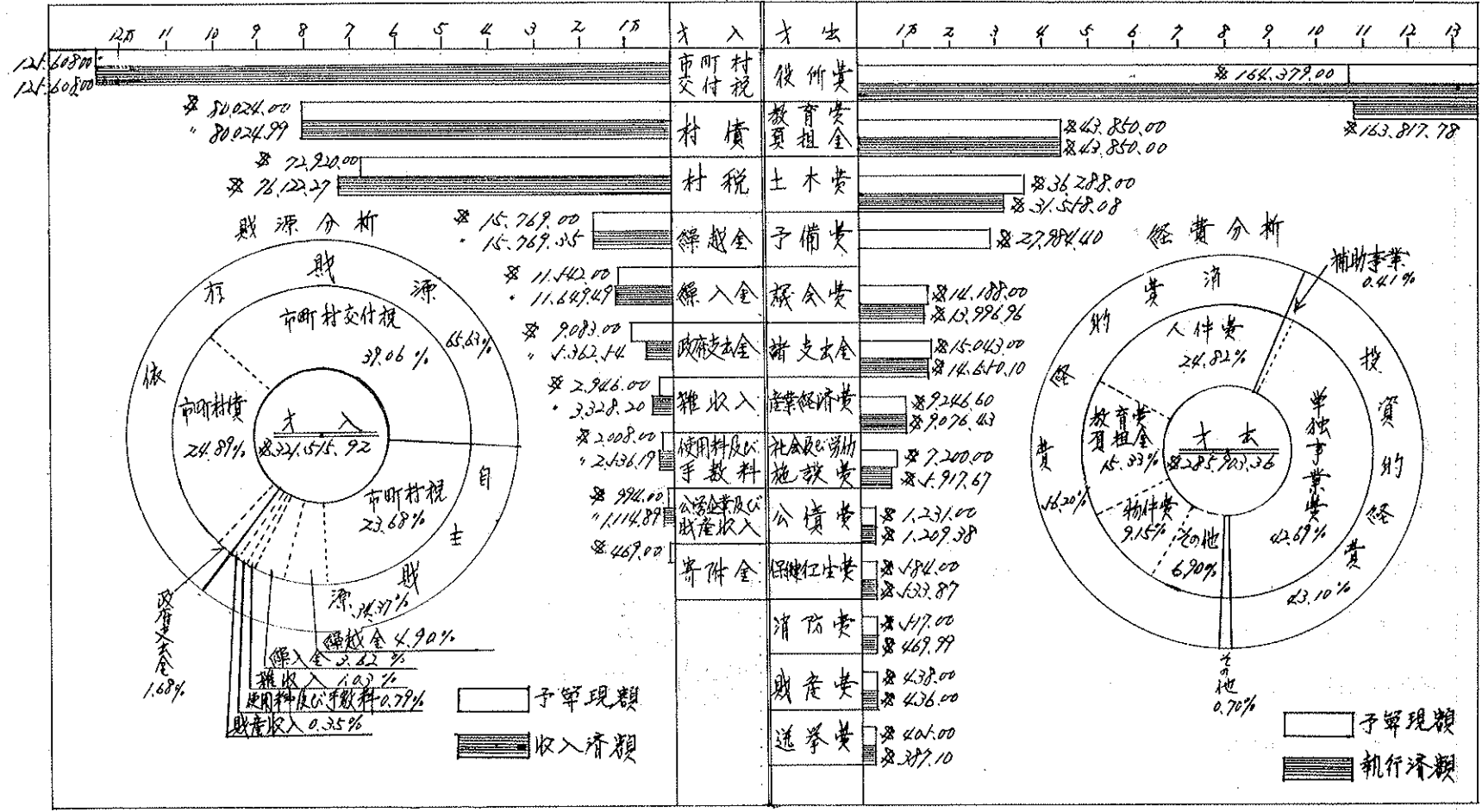
税目別に見る負担額 (1968年度)

村税総額に占める税目別割合



税 目	金 額	1人当り 負担額	1世帯当り 負担額
村 民 税	\$ 6,537.82	\$.65	\$ 3.39
固定資産税	11,571.73	1.15	6.00
事 業 税	482.65	.04	.25
不動産取得税	1,560.09	.15	.81
計	20,152.29	1.99	10.45

1968年度一般会計 決算状況



六八一六九年期さとうきび生産高

昨年期に比し一万余トン減収

昨年十二月二十日から操業した今期の製糖は、昨年期よりも一ヶ月早く三月二十六日終了しました。今期の製糖が一カ月余短縮された大きな原因は、全疏的なさとうきびの減収によるといわれています。本村におきましても、昨年期の生産高と比較し一〇、〇八六、二八六キ

ログラムの減収であり、そのことは労働不足による肥培管理のまずさは勿論ですが、古株の増加がその重要な要因である。村経済課では古株を更新するよう呼びかけています。部落別生産高は次の表の通りです。

68/69年期原料生産高		
字	面積	生産高
幸地	7,900 a	6,062,688 kg
幸棚	4,104	3,483,580
徳佐	2,178	1,961,732
森川	1,685	1,575,307
千原	2,485	1,750,045
上原	4,054	2,707,946
翁長	4,497	4,092,177
興屋	1,874	1,823,304
花波	1,729	1,667,306
津川	1,749	1,498,416
小内	1,542	1,257,479
保久	720	558,936
手那	965	806,606
小那	4,064	3,729,714
崎原	1,120	1,049,455
伊保	1,627	1,560,814
伊保	3,116	1,902,082
兼与	1,626	1,484,316
那城	875	919,986
我謝	5,681	4,810,393
安室	1,371	1,185,104
桃原	1,050	1,002,487
池田	1,609	1,194,869
小津	5,854	5,356,061
波他		11,680
合計	62,480	53,452,483

※祖国復帰要求大行進団

本村を通過

去る四月八日、沖繩の最北端辺戸岬から東西両コース分かれてスタートした祖国復帰要求大行進団は、復帰の悲願を胸に、炎天下を力強く行進四月二十二日疲れの色も見せず本村に到着しました。

のことはと連帯のあいさつを送ったそのあと行進団を代表して東コース団長（花城氏）のあいさつがあり歓迎集会を開きました。行進団はその後一時間ほど休んで午後三時村内の予定コースを時間内都合で一部変更して、村民が沿道に出て歓迎するなかなを行進、与那原へ向いました。

健康は生活環境の美化から

春の清掃週間終る

自四月十七日 至四月二三日

春から夏にかけては、私達の健康にいろいろと影響を及ぼす大気汚染、伝染病の発生等、生活環境の悪化が心配されます。これらの心配ごとを一斉にとりのぞこうということで、このほど厚生局市町村の主唱により四月十七日―二十三日までの七日

間を春の清掃週間と定めました。清掃週間に限らず、常に家庭及び地域社会の生活環境を美化し健康的なものにすることは当然ですが、週間を設けて全疏一斉にこれらの清掃をなすことはまたそれなりに、効果があらるといわれています。

今度の清掃週間は次のようなことを重点実施事項としてとりあげていきます。

- ① ごみ容器の設置
ハエやネズミの発生源とならないような、有蓋で持ち運びの便利な容器を各家庭に設置する。
- ② 公共用地の清潔保持
公園、広場道路、観光地、河川の清潔を保つように努める。
- ③ 蚊、ハエ、ネズミの発生源の除去
日頃、清掃が不十分な土上裏、床下等を清掃し、更に空ビン、空罐、古タイヤ、不要になった水タンク、水ガメ等を整理する。

人事

大巾の人事異動

西原村（舊平吉太郎村）は、三月一日付で課長、係長、書記など十二名に対し配置換えに伴う辞令を交付した。これは住民福祉を図るため行ったもので、去る二月異動になった職員は次のとおりである。（ ）内は前職建設課長大城政吉（住民課長）。
住民課長、西原裕昌（経済課長）。経済課長呉屋善徳、昇任（企画広報係長）、財政課財務係長、小橋川正世（固定資産評価係長）。総務課庶務財政係長小川良夫（農林係長）。住民課厚生係長呉屋厚雄（総務課庶務財政係長）、農林係長伊波精吉（税務係長）。住民課書記新川初子（総務課）、財政課書記小波津隆（住民課）、財政課書記平良雄世（経済課技術系）。総務課書記久川正信（財政課）。総務課書記宮平苗子（住民課）、その他課内配置換えなど人事刷新して新しい村づくりにスタートした。

産業

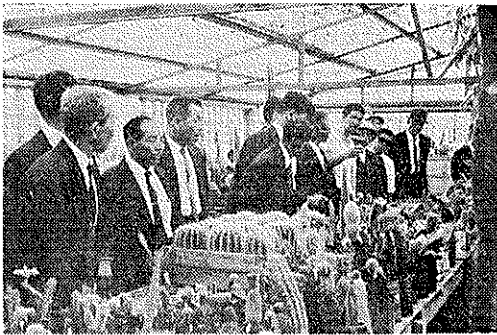
産業基盤整備に大型機械購入
西原村では、このほど製糖期を終へ村内村農道整備強化のため三菱式グレベッター一万四千三百ドル一台とトレント六トントラクター四千七百ドル一台を購入し、村内には村道四六線で三万六千七百二十三メートル農道三八線で一万九千二百八十八メートルに及んで今後の産業基盤整備に一般農家が大きく期待されている。

今期の甘蔗作

二、三%の減収

西原村では、前年上期に続き甘蔗生産高調査百十世帯の経営する四、七二二、八アールを対象に調査をまとめた。基準収獲量四、〇三五、四三一、一噸に対し三、九三九、五〇五噸の実収獲で九五、九二六噸の減収高を示しており前年より一一、三%の減収率をみているが、減収理由は村全体で四年次以上の株出甘蔗四四、七二六アールで七五、六%に当り今年で更新(植替)するよう一般農家に呼びかけている。

サポテン経営を視察



六九年度産業

視察終る

村経済課では、去った四月九日六九年度の産業視察を実施しました。この視察は、先進地の農業、他産業を見聞してその長所を学び、村の生産向上にいくらかでも役立たせようとする、毎年製糖終了を期して行なわれている行事であります。当日は、区長をはじめ六十名が参加して、コザ市の菜施設栽培、蔬谷村の畜産、南風原村のサポテン、琉球農業試験場を熱心に視察しました。

春の非行防止運動

警察本部では、去った三月二十六日から四月七日まで青少年の非行防

止週間で全疏的に夜間輔導を実施した。本運動にちなみ、村内でも役所(各課長)、各駐在巡査、中学校教職員により、三月二十六日、三月三十日、四月二日、四月三日の四日間、午後八時から十一時まで村内の青少年のたまりばを巡視し、数人の青少年を輔導した。

この運動は、春休みになつて、気がゆるみ、とかく非行化の傾向にあるため、それを未然に防止し、明るい環境を作るための運動である。

教育委員の改選

新しい教育委員に

翁長盛助氏、が無投票で当選
城間哲男氏、が無投票で当選

西原村選挙管理委員会(委員長翁長正貞)では教育委員(翁長盛助、仲宗根精恵両氏)の任期満了に伴い二月二十二日に三月九日区教育委員選挙執行の告示をしましたが、立候補者が定数にとどまり無投票で当選が決りました。

なお、当選された両氏には、三月十五日村役所小会議室に於いて当選證書が附与された。

住所	幸地一〇一番地
年令(満)	五八才
職業	農業
住所	幸地一四〇番地
年令	四〇才
職業	会社重役

青年祭

第三回青年祭おわる

西原村青年連合会は、三月三十日午前十時から昭和四十三年度(第三回)青年祭を村役所ホールで行なつた。午前中は村会議室で手工芸品、編物、絵画など多くの展示品を陳列し參觀者多数の目をとめた。

午後は意見発表にうつり、「若者として」を題して幸地青年会から外間幸子さんが一位に金賞を獲得した。

二位に銀賞安室青年会の城間苗子さん、寸劇の部金賞我謝青年会。銀賞安室青年会、日舞の部、金賞安室青年会、銀賞我謝青年会、琉舞の部金賞我謝青年会、銀賞伊保の浜青年会、合唱の部、金賞安室青年会、

銀賞我謝青年会、編物の部入賞伊波政子、城間苗子、琉球人形の部、西原弘子、新垣章子、手工芸の部、与古田トミ子、与古田加代子、絵画の部、宮里信正、写真の部、安室青年会、優良青年会として安室青年会が表彰、奨励賞に我謝、伊保の浜青年会、努力賞に幸地青年会が表彰、過去三カ年間青年会に物心両面援助した西原村農業協同組合に感謝状を贈った。当日は村長、議長、教育委員会、歴代青年会長が臨席し激励の言葉を送り午後五時盛大に青年祭の幕をとした。

教員の人事異動

社会教育主事に

普天間氏

去った三月、教員の定期異動が全疏で行なわれ、管内小中学校に於きましても、合せて二十三名の先生が異動になりました。それに伴い西原村教育委員会で四月二日村役所小会議室に於いて辞令交付式を行いました。また、この度の異動により一九六七年十月から現在まで本村の社会教育主事として貢献された比嘉武徳氏も普天間小学校へ転任されることになり、その後任として普天間朝智氏を迎えることになった。尚、この度異動になりました先生方は次のとおりであります。

西原小学校	転入	坂田小学校
藤村 トシ	坂田小学校から	坂田小学校
知念 ヨシ子	津瀬小学校から	坂田小学校
新垣 光子	平安座小学校	坂田小学校
新垣 義隆	平安座小学校	坂田小学校
新垣 紀子	平安座小学校	坂田小学校
石原 祐哲	中城小学校へ	坂田小学校
安室 芳子	嘉敷小学校へ	坂田小学校
安谷屋 芳子	南部連合区へ	坂田小学校
親泊 キヨ	津瀬小学校へ	坂田小学校
玉那覇 良子	嘉敷小学校へ	坂田小学校
坂田小学校	嘉敷小学校へ	坂田小学校
宮城 喜久子	西原小学校から	坂田小学校
西原中学校	西原小学校から	坂田小学校
転入	西原小学校から	坂田小学校
新垣 清徳	中城中学校から	坂田小学校
宮城 昭子	越来中学校から	坂田小学校
比嘉 昭粹	北中城中学校から	坂田小学校
山川 好啓	琉大新卒	坂田小学校
井口 善博	中城中学校へ	坂田小学校

新垣 静子 美東中学校へ
 玉那覇 則子 古堅中学校へ
 比嘉 英子 中城中学校へ
 島袋 憲一 退職
 社会教育主事
 比嘉 武徳 普天間小学校へ
 普天間 朝智 嘉数小学校から

中部市村親善野球大会終る

西原村役所チーム浦添と対戦

中部市村会主催の市村役所対抗野球大会が四月十三日から三日間コザ市営球場で行なわれました。我が村役所チームは大会二日目の二試合目に浦添村役所チームと対戦、日頃練えた技を發揮しましたが惜し

くも大差で敗れた。しかし、この行事は勝負を披きにして参加することに意義があるといわれ、試合には敗れたが所期の目的を十分果すことができました。